

● 血清蛋白(血液検査)①

● 総蛋白 <TP ; total protein>

<p>意義</p>	<ul style="list-style-type: none"> 血清中には100種類以上の蛋白が存在し、生命維持と生体の恒常性の保持に重要な役割を担っている 血清総蛋白のうち、約60%を占めるのがアルブミン、その他はグロブリンである。総蛋白が異常値を示す場合はアルブミンかそれ以外の蛋白によるものかを確認する
<p>基準値*</p>	<p>6.5~8.0 g/dL</p>
<p>異常値で疑う疾患</p>	<p>高蛋白血症：多発性骨髄腫、急性・慢性感染症、脱水症など 低蛋白血症：ネフローゼ症候群、蛋白漏出性胃腸症、肝障害、悪性腫瘍、重症感染症、低栄養など</p>
<p>服薬指導に活かせるポイントなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 検査値異常がアルブミンによるものか他の蛋白（主にグロブリン）によるものかを確認する必要がある ❑ 低蛋白（アルブミン）血症の患者は、肝障害あるいは腎障害を有していることが多く、薬剤の代謝経路には注意を要する ❑ アレルギーの既往などを十分に確認し、アレルギー症状の発現に注意する ❑ 栄養状態や脱水の確認